

こころの赴くまま、時には彷徨いながら、
こころの赴くまま、時には彷徨いながら、

森のなかを散歩するような思考の足取り
森のなかを散歩するような思考の足取り

幾つもの土地を訪れ、迂回し、人やものと出会いながら、
幾つもの土地を訪れ、迂回し、人やものと出会いながら、

それらと共に踊るような特異な試み
それらと共に踊るような特異な試み

テンベア、それはふらふらと彷徨い歩くこと
テンベア、それはふらふらと彷徨い歩くこと

旅の途上で出会った様々な人やものの〈声〉をめぐる
旅の途上で出会った様々な人やものの〈声〉をめぐる

遊動する学舎
遊動する学舎

今福龍太氏 公開講演会

テンベア

遊動、放擲、声——旅の途上で出会ったものたち

2025年

10月24日（金）

Open 16:30 Start 16:45

富山大学人文学部第四講義室

人文学部棟2階

予約不要、無料、一般参加歓迎

お問い合わせ

ryofkshm@hmt.u-toyama.ac.jp

富山大学人文学部福島亮研究室



ふらふらと彷徨い歩くことを意味する「テンベア」というスワヒリ語の言葉を鍵に、今福龍太氏が出会った様々な人やものの〈声〉について語っていただきます。合目的で直線的な「コストパフォーマンス」の良い振る舞いとはまったく異なる〈遊動的な知〉への誘い。

今福龍太 いまふく りゅうた

文化人類学者／批評家。1955年生まれ。1980年代初頭よりメキシコ、カリブ海、アメリカ南西部、ブラジルなどに滞在し調査研究に従事。その後、国内外の大学で教鞭をとりつつ、2002年より群島という地勢に遊動的な学び舎を求めて〈奄美自由大学〉を創設し主宰する。著書に『クレオール主義』『群島—世界論』『ヘンリー・ソーロ 野生の学舎』（読売文学賞）『霧のコミューン』など多数。

